

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ディグ・スマイル前橋南教室		2025 年 10 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を分ける等おこなっている ・利用者様の特性にあわせて利用者様同士が関わるできるようグループ分けをしている ・集団活動でのスペース、少人数対応のスペースがあり、適切に使用できている 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数に対して利用定員がやや多いと感じるときがある ・マンツーマン対応の児童が多いため職員の人数が足りていない。支援の工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物やスケジュールを利用者様の目線の高さに合わせて掲示する等、見やすくなるように工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化されていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別のロッカーを作る、水筒の置き場所を固定化している ・消毒や掃除を毎日おこなっている ・カベの修繕や落書きにはその都度対応している 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きたい場合や一人になりたい場合には応接室等、別室を用意して対応している 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りと今後の対応の検討の実施 ・参加している ・毎朝の朝会でその日の活動目標を立てている 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な会議の実施 ・アンケートを実施している ・結果の共有だけでなく、改善すべき点や継続していく点についても話し合っている 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・朝会や送迎後等にお互いの気づいたことを共有し、検討会を開催している 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査では書類や運営が適切に行われているか確認し、改善に努めている 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・支援における研修をおこなっている ・研修が充実している 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・朝会にて、その日主となる職員中心に作成、共有している ・毎月カレンダーを作り公表されている 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や本人のニーズを基に現状に則した支援計画書を作成し、職員間で共有している ・分析している 	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・利用児童に対して同じ方向性、同じ対応をしていくための共有をおこなっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画を基に支援を検討し、実施している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・社内フォーマットに沿って作成をしている ・アセスメントシートにあるチェック表を活用し確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・朝会にて職員で話し合い、担当職員を中心に決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・常に新しいプログラムを考えている ・参加児童にあわせて柔軟な対応をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・集団での活動を目標にその子にあった内容を提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝会を通し共有伝達をおこなっている ・支援の流れ、職員ごとの役割、内容、配置をチームで共通理解している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・次の日の朝会でおこなっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・個別記録や業務日誌に活動内容、活動の様子を記録し、支援に活かしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・モニタリングを積極的におこなっている ・送迎時に学校での様子を聞き取ったり、相談員と密に連絡を取り合い共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・日々のプログラムや休日のイベントでは公共施設で過ごすことも取り入れるなど、活動を工夫している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・おやつや活動したい場所など、自己選択の場を設けている ・自由時間を設けている ・朝会の場で話し合っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・支援に入る職員が対応している ・保護者、担任等にも参加してもらい、それぞれの場面での利用者様の様子を把握できるようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・主治医の確認をおこなっている ・協力医療機関には定期的にあいさつに伺っている	整えが弱いような気がする

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・担当の先生との情報共有をおこなっている ・年度は地味には年間予定を共有していただき下校時間は1週間ごとに確認している	下校時間の漏れが多い
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・相談員から情報を共有していただいている	努められていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・小学校から中学校への進学時に引継ぎを実施している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センターとの連携には努められていない	研修は行っていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・学校休業日には児童館を利用している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や電話にて1日の様子などを共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・家族への研修は取り組めていないが、面談を実施しアドバイス等おこなっている ・保護者様と良好な関係を築けるよう情報共有を図っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・プログラムの結果などを都度伝えている ・契約時に説明をおこない、閲覧ファイルを作成している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・ご家族と積極的にコミュニケーションを取り、ご家族の意向を汲んでいる	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・計画の内容を分かりやすく説明したうえで同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・定期的に面談希望の有無に関するアンケートを配布し、希望のあるご家庭には面談をおこなっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3	・イベント等の際に施設内を見ていただく提案をしているが、来訪にはつながっておらず保護者同士の交流の機会を作れていない	保護者同士での交流がない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情に関して丁寧に対応している ・対応のマニュアルやワークフローに沿った対応を迅速にとれるよう努めている	

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に連絡帳を活用する ・HPや毎月のお便りにて活動の報告を実施している 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーの使用や保管に注意している ・個人情報記載された書類やPCは鍵付きのキャビネットに保管している 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎノートの活用など、配慮をしている ・合理的な配慮がおこなえるように工夫している 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加したい 	もっと地域に発信すべき
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施している 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・BCPに関する会議をおこなっている ・不定期だがおこなっている 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と情報共有し、個人ファイルに保管している 	把握できていない
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		同上	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を定期的におこなっている ・安全に注意し行われている 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有をおこなっている ・家族に報告している 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		定期的に共有していく	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン（動画）による演習を年に数回おこなっており、日常の支援に役立っている 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・朝会の議題として話し合っている 	